

# マイナポイント

## 最大5千円分 きょうから受け付け

# 獲得は楽じゃない

政府がマイナンバーカードを持つ人だけに最大5千円分のポイントを支給する「マイナポイント」事業の受け付けが7月1日から始まる。カード普及と消費喚起、キャッシュレス決済の拡大という三つの狙いがある。だが、ポイント獲得までの手続きは多く、道のりは楽ではない。

# 手続き支援窓口も

ポイントは9月～来年3月の7カ月間、電子マネーやスマホ決済などでの買い物やチャージにあわせ、利用額2万円を上限に25%分、最大5千円分が与えられる。政府は4千万人分の予算計2千億円を用意しているが、申込数に上限に達したら申請を締め切る。いまのカード保有者は約2200万人弱で、総務省は「年内に申し込めば間に合う見込みだ」としている。

### マイナポイント獲得への道のりは険しい

7月1日午前中に受け付け開始

- 1 市区町村でマイナンバーカードを取得  
申請から取得まで約1カ月かかる
- 2 ネット上で申し込み用のアプリかソフトをダウンロード。カードの4桁の暗証番号などを入力し、ポイントを受け取るためのIDを発行  
暗証番号を忘れると、市区町村で手続きが必要
- 3 ポイントをもらう電子マネーなどの決済サービスを選択。サービスごとのIDなどの入力も必要  
ポイントを使うための手続きが別途必要な場合も

9月以降の買い物・チャージで最大5千円分のポイント付与。予算がなくなったら終了

マイナポイントを受け取るためのIDを設定する。この際、マイナンバーカードの4桁の暗証番号を入力する必要があり、番号を忘れて入力ミスが続いたりすると、市区町村の窓口で再設定が必要だ。

また、パソコンの場合は未対応のブラウザがあるほか、カードリーダーも必要になる。このため、多くの市区町村の窓口や郵便局などには手続きの支援コーナーがつけられる。ID設定後は、ポイントをもらうための決済サービスを選ぶ。このとき、決済サービスごとに設けられているIDなどの入力も必要だ。ポイント付与の方法や時期は決済サービスによって違い、自分で確かめないといけない。

また、交通系の電子マネーは、それぞれのポイントサービスなどへの事前登録が必要になる場合が多く、スマホへの機能搭載は、カードが持つ本人確認の機能や将来的に加える予定の健康保険証の機能などをスマホでも利用できるようにするイメージとみられる。顔や指紋などで本人確認を行う認証機能を使い、暗証番号を入力する場面を減らすことも検討する。

この日の会合では、カードの普及などに役立つ施策として、33項目の検討課題をまとめた。運転免許証との一体化や預貯金口座とのひもづけ、学校健診データの保管などだ。菅義偉官房長官は「年内に工程表を策定し、できるものから実施していきたい」と述べた。(藤田知也)

# マイナンバーカード機能 スマホ搭載検討へ

注意が必要だ。たとえば、Suica(スイカ)の場合

合は事前にJREポイントサービスに登録しなければいけない。マイナポイントを買い物で使えるポイントに交換する手続きが必要なサービスもある。